

武雄市図書館・伊万里市民図書館を見学して

福富洋一郎

ふくとみ よういちろう

※図書館友の会全国連絡会代表、日本図書館協会理事

1 はじめに

私は、11月23日に佐賀県の武雄市と伊万里市に行き、両市の市立図書館を見学する機会を得た。2つの図書館は、全くタイプの違う図書館であり、その格差に愕然とした。武雄市図書館は、今年4月に指定管理制度を導入するとともに、大幅なりリニューアルを実施し、マスコミの話題となった。伊万里市民図書館は市民の力で建設されてから18年、地道に成長発展してきた図書館である。この2つが奇跡的に一山こえた隣接都市に存在して

いる。

本稿をお読みになり、武雄市図書館を見学したいと思われた方は、ぜひ伊万里市民図書館にも訪問されることをお勧めしたい。

武雄市は「図書館というより書店カフェ」であった、伊万里市は「市民協働で発展している図書館」であった、というのが私の個人的な率直な感想である。私は、横浜市北部で図書館の友の会のボランティア活動をしているが、全国の図書館仲間の連携組織として2004年4月に発足した「図書館友の会全国連絡会」の代表を3年前からしている。また、2

013年5月に日本図書館協会の理事に就任したが、これから述べる感想は所属団体の意見ではなく、個人的なコメントであることを最初に断わっておきたい。また短時間の見学からは限定的な印象に過ぎないかもしれないが、事前にできるだけ調査をして情報を集めたので、効率的な見学ができたと思っている。

2 武雄市図書館は書店か図書館か

(1) 第1印象

立地の素晴らしさに感動した。御船山



武雄市図書館

の威容、武雄神社にも近く、建物も立派で2000年に完成したと伺った。気になったのは施設名は「武雄市図書館・歴史資料館」（愛称「エポカル武雄」）が公式だそうだが建物の表に大きく掲示されている名称は「武雄市図書館」であり「歴史資料館」の表示が見当たらなかった。後で問い合わせたら2箇所の入口に小さく掲示してあるそう。歴史の好きな私としては残念である。蘭学館がCC（カルチュアコンビニエンスクラブ）

のTSUTAYAレンタル施設に置き替わった影響だろうか。

入口を入ると、最初にクリスマス関連の本の販売棚が目飛び込んできた。当日開催されていたイベントに関連して、子ども向けのサンタクロースなどの絵本がずらりと並んでいた。多分、時期に応じて売り出すのであろう。その周辺はすべて蔦屋書店としての本の販売場所であった。図書館であれば普通、新着本や、テーマに基づく本や資料、イベントの関連本などの展示が入口近くの一等地を占めているが、武雄市図書館では、ここは書店が中心であった。

館内を眺めると2階の天井まで続いた書棚の空間が素晴らしい。本にうずもれた図書館の雰囲気を感じていた。しかし、後で確認するとかんがりの本が装飾だけでダミーであることが分かった。ただし、装飾としては分からないではない。次に右を見ると、スターバックスのカフェが目前で客席もゆったりとしていた。左を見ると楕円形の囲いの中に何とTSUTAYAレンタル店が眩いままに

口に入る。横浜市北部のTSUTAYAより内装が美しかった。右に曲がって「図書館」を探した。料理・旅行・人文という3つのジャンルに分けられ、購買意欲をそえられる本が四角い囲いの中の平置きと、周囲の壁の棚に並べてあった。代官山蔦屋に比べ販売面積が極端に少ないものの、それでも大型書店として、頑張っている印象であった。ジュンク堂や、八重洲ブックセンター、三省堂、東京堂、有隣堂などと雰囲気の違い、やはり代官山蔦屋の配置だな、と当たり前だが確認した。

しかし、問題は図書館である。ようやく図書館が見えてきたが、その本が購入可能か、貸出可能かは、棚の表示の色を判断するか、ラベルの有無で区別するしかなく、書店と図書館が混在されている印象を受けた。

なお、武雄市図書館の内部は、幸いホームページにストリートビュー（*）で、あたかも内部を歩いているように見ることが出来るので参照されたい。この民間ノウハウは行政でも活用できるので

はないかと思った。

(*) <http://www.epochal.city.takeo.lg.jp/win/guide/floormap.jsp>

(2) 図書館機能のチェック

ようやく図書館に辿り着いたので図書館機能をチェックしてみた。私は図書館の専門ではないので、「出版ニュース」2013年9月中旬号の調布市立図書館長である小池信彦氏の「武雄図書館訪問記」を参照願いたい。年間無休という休館日を設けない考えへの疑問、検索のやりにくさ、2階の上段書籍の取りにくさ、貧弱な雑誌の蔵書、配架作業への疑問、館内サインの不十分さなどの、小池氏の感想には同調した。ただし、2階の高い棚から朝日新聞の縮刷版を取り出す作業は社員の方に実際にやってもらった。2階にはCCC社員がいないので、1階に降りてカウンターで呼び出してもらい、一緒に2階に上がった。廊下のはずれに置いてあった飛行機のタラップのような階段梯子を運んできてそれに上って、取り出してくれた。ストッパーは外

さずに、本を斜めにして抜き出した。梯子は特注品のようなであった。

子どものコーナーは建物の角の明るいところに配置されていた。読み聞かせもそこでやることになるが、リニョール前はスターバックスのところに子ども用トイレと地元で有名な塚崎大楠をモチーフとした子ども読書室があったそうだが、今は無い。残念である。

閲覧室の雰囲気は良かった。自動貸出返却のセルフレジは、購入用も兼ねている。「武雄市図書館公式ガイドブック」という帯が入った『たけお散歩』という本を購入するときに使用してみた。返却レジは経験あったが、購入レジは初体験だった。

私は図書館を見学するときにも、図書館と郷土史のジャンルの蔵書レベルをサンプルとして調べることにしている。武雄市図書館の場合は、図書館の蔵書は違和感が無かったが、郷土資料は歴史ある都市として少ない気がした。もしかして見落としたのかもしれない。

(3) 図書館併設機能のチェック

T S U T A Y A レンタル店は、品数豊富で工夫されていた。代官山葛屋の2階のレンタルコーナーに行った時の印象と同じである。ただし、代官山に比べて面積が狭い。他の平均的なT S U T A Y A より狭いのではないか。しかし、蘭学館を廃止して切り替えただけに、煉瓦で囲まれた内装はハイカラで素晴らしく、きっと武雄市民には人気の場所になっていると思った。まさか市民ボランティアは葛屋書店や、T S U T A Y A レンタル店のことには参加していないと思うが、区別が不鮮明なのが気になった。

(4) 歴史資料館との関係

『たけお散歩』に歴史資料館の説明が少ないのが残念であった。幕末明治維新の時期に鍋島藩が日本の発展のために独自に海外文明を吸収した証拠品が陳列されていただけに、今回見ることが出来なかったことは誠に残念である。大鉄砲などの所蔵品はどうなったか気になったの

で、帰宅後問い合わせたら、現時点では倉庫に保管されているそうでほっとした。よもや廃棄処分にはしないとすが、将来、民間のTSUTAYAレンタルから蘭学館に復帰することを検討してほしい。

3 伊万里市民図書館の現状

(1) 第1印象

武雄市図書館を見学した後、車で30分



伊万里市民図書館

ほど走り、伊万里市民図書館に着いたとき、その質素なたたずまいになぜかほっとした。そして図書館内に入った時にさらに図書館の匂いを感じた。当日はたまたま祝日休館日で静かだったためではなく、いたるところに伊万里図書館のキャッチフレーズである「伊万里をつくり市民とともにそだつ市民の図書館」という言葉が感じられたからである。

嬉しかったのは、入口から入ってすぐに新刊書コーナーがあり、その上に施設配置図とその横に図書館の自由の宣言があったこと、さらに伊万里市民図書館設置条例の第1条が堂々と明示されていたことである。そこには「伊万里市は、すべての市民の文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、図書館を設置する。」と書かれていた。地方自治の発展まで言及していることに感動を覚えた。そして、右側に「図書館フレンズ伊万里」の活動紹介パネルと「市民情報コーナー」があり、リユース本が置いてあって市民との協働活動が目に見える形で目に飛び込んできた。

(2) 図書館機能のチェック

図書の配置は手の届く高さの書棚に配列されており、書棚の間隔やところどころに置かれた柔らかな椅子など、お年寄りにも優しい造りになっている。特に気に入ったのは「子ども開架室」と「伊万里学・AVコーナー」であった。利用者の要望をよく聞いて設計されていると思った。圧巻は伊万里焼を意識して作った「登り窓天井」の子ども向けお話室であった。入ると斜めに降りる階段があり、その底は本を読んで聞かせる場所になっていた。階段は座席になる構造で、上の板蒲鉾のような天井には、プラネタリウムの原理と同様に星座が映し出されており息を飲んだ。

郷土史コーナーには圧倒されたが、図書館に関する本の蔵書は探しくかった。

(3) 図書館併設機能のチェック

伊万里市民図書館は図書館専用の施設なので、武雄市図書館のように本の販売

日本最大の外国人名辞典 ついに完成！

（第100年記念出版）

岩波 世界人名大辞典

岩波書店辞典編集部編

全世界の国・地域について、神話・伝説上の人物から現存者までを網羅した総合的な人名辞典。著作・作品など正確で豊富なデータを紹介。（ひと）を知る最大・最良の手引き。

- ◎ 項目数38,980
- ◎ 正確な解説、豊富な情報
— 人物を知る手がかりを提供
- ◎ 神話からアニメまで
— 架空人名も収録
- ◎ ポップカルチャーやスポーツ、
ビジネス界にも目配り
- ◎ グループ名、別名や称号
からも引ける



B3判2分冊上製本A4クロス装、3610頁
定価29,400円（税別）
[図録茶色3冊]

岩波書店

〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
http://www.iwanami.co.jp/

やTSUTAYAレンタルのような機能は無い。ただ、カフェ、喫茶店に関しては、喫茶コーナーがあった。ボランティアの協力を得ているようである。仮にここにスターバックスに営業させると全体の雰囲気とは調和しないだろう。また、160人収容のホールがあった。随所に素晴らしい工夫が息づいているホールだった。

（4）市民参加の状況

「図書館フレンズいまり」は、図書館と同じ設立は1995年だが、前身が「図書館づくりを進める会」で、理想の図書館を目指して行政に働きかけ、図書館開館後も、図書館を守り育てる友の会

として活動しており会員は現在360名もいる。10数年ぶりに図書館を見学した人が昔に比べてさらに進化している、と感心していました。

4 武雄市が図書館界へ与えた衝撃と今後の動向

以上、2つの対照的な図書館の感想を述べてきたが、それぞれの自治体だけの問題ではなく、全国的規模で図書館モデルが話題になっているので、個人的な意見を参考までに述べたい。

昨年5月4日に武雄市の樋渡市長が東京の代官山蔦屋書店でプレスリリースをしたことを知り、すぐに代官山蔦屋に行った。その後、何度も行き、CCC社長

の増田氏が書かれた本や、参考になる本を蔦屋書店で購入した。また、図書館でレファレンスすることで情報を得ることが出来た。また、武雄市の公式ホームページや樋渡市長の個人ブログ、さらにはこの問題をフォローしているツイッターやフェイスブックなどの大量の資料にもできるだけ目を通した。

しかし、なによりも多くの情報を得たのは、武雄市民が昨年7月に立ち上げた「武雄市図書館・歴史資料館を学習する市民の会」のホームページ（*）や、その共同代表者である井上一夫氏から直接講演会でお話を聞いたことであった。図書館友の会全国連絡会の総会時（2013年5月）、社会教育研究全国集会（2

013年8月)、全国図書館大会・福岡大会時に開いた交流懇親会(2013年11月)と3回にわたり、武雄市図書館のリニューアル前の写真と指定管理者制度導入後の状況を比較しながら話をうかがった。

(*) <http://takeolib.sho.jp/>

一緒に武雄市図書館を見学した図書館友の会全国連絡会のメンバーの感想は、図書館というより書店だ、図書館のミッションを大事にすべきだ、まずは図書館のあり方を検討してから手段である図書館経営を考えるべきだ、というものであった。私も同感である。

今回マイナーな図書館を話題にしてくれた功績は樋渡市長にあると思う。この機会にピンチをチャンスに変えて、図書館友の会全国連絡会の「私たちの図書館宣言」(*)の実現を目指して進んでいきたい。

(*) <http://totomoren.net/index.html>

いま、本の世界はどうなっているのか—著者・読者・図書館と“本の周辺”情報

出版総合誌 **出版ニュース**

旬刊(毎月、1日、11日、21日 月3回発行)

出版界の現状を論評・解説。新刊図書の書評、ブックガイド、出版文化・出版・編集・装丁・流通・書店・図書館・古書・こども文化・言論などのコラム、英・米・独・仏・露・中・韓の海外出版レポート、全国書店ベストセラー調査、出版関係文献資料、出版界スコープ、出版関係の情報欄等。

●「BookLive!」電子版 <http://booklive.jp/>

※閲覧にはBookLive!への会員登録と、専用アプリ

「BookLive!Reader」が必要です。

※紙媒体も電子版も1部の定価は同じです。

※1年分購読は直接購読がお得です。

●直接購読料(送料込・税込)

※通常号 500円 / 特別定価号 600円(年2回)、700円(年1回)

※1年分 17,000円(34冊)、半年分 8,500円

出版ニュース社

<http://www.snews.net/>

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-7

電話03-3262-2076 FAX03-3261-6817 振替00150-8-66956